

活動目的

血液疾患の患者と家族が希望を持って心豊かに生きることを第一に考えます。
会員に情報交換の場を提供し、医療に関する知識の向上を計り、共に励ましあいながら病気に対する不安や苦しみを乗り越えていくことを目的とします。

活動内容

年3～4回の定例会開催

年4～5回の会報発送

年1～2回の医療講演会開催

(メールによる相談は随時受け付けております)

寄付のお願い

リボンの会の会費は無料です。活動資金はすべて善意の寄付によるものです。ご協力よろしくお願いします。

郵便口座

【記号】 17400

【番号】 38798251

【名義】 リボンの会

一人で悩まないでまずご連絡ください。
電話でもメールでも何か手助けできることがあると思います。色々な経験をしている会員がいますので、医師とはまた違った視点でのアドバイスができると思います。この病気を知っている人に話すだけで気が楽になり元気が出ますよ。個人のプライバシーは厳守いたします。個人の情報を本人の了解なしに公開することはありません。

連絡先

リボンの会代表

宮地 里江

U R L | <http://ribonnokai.info/>

E-mail | <http://ribonnokai.info/mail.html>

血液疾患を考える患者 家族の会



リボンの会

人の優しさ・勇気そして希望が
リボンに包まれた贈り物となって
人と人をつないでくれますように
との願いを込めて...

ごあいさつ

リボンの会 代表
宮地 里江

ある日突然、白血病と告げられたら…まさか！と驚き、絶望感で頭の中は真っ白になるでしょう。まるでドラマのようで、すぐに現実を受け入れることができません。

息子の発病をきっかけに、1993年、私はリボンの会を立ち上げました。患者家族の不安や苦しみは孤独であり、それを乗り越えるためには、励ましあい語り合う場所が必要だと強く感じたからです。

自分が苦しかった時の事を忘れず、今苦しんでいる人の立場に立って考え、寄り添いながら一緒に乗り越えたいと常に思っています。当会では、大切な“いのち”と向き合い、病気について学びながら、患者同士本音で語り合える場所を提供しています。

あなたは決して一人ではありません。あなたのまわりには、家族、友人、仲間、医療関係者、骨髄や造血幹細胞の提供者など支えてくれる人がたくさんいます。

血液疾患は再発の不安や薬の副作用のつらさを抱えながら長く付き合っていく病気です。患者にとっても家族にとってもやり場のない気持ちにおそわれる日もあるでしょう。

そんな時、リボンの会に来てしゃべってみませんか？どんな些細なことでも、聞いてくれる仲間が待っています。

リボンの会に たどり着いたあなた方へ

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 血液内科部長
衛藤 徹也

私はここ数年リボンの会のお手伝いをさせていただいています。病気・医療の解説、個人面談、四方面などを定例会でさせてもらっています。そう言いながら皆さんから教えてもらうことも少なくありません。でも、以下のことはよく考えてみてください。治療は他人（医者、家族）任せじゃいけないということと、与えられ与えて生きていくということ。

今やがんは特別な病気ではありません。もし不幸にしてそのような状況になったとしても、積極的に病気に関わっていく必要があります。「私たちは素人ですから…」と、よく言われますが、そう言わずに、できる範囲で調べて意見も持ちましょう。患者さんは主人公ですから。

リボンの会は、患者環境をとりまく問題点について、当事者の目を通した生の情報や意見が聞ける場です。結成後もうすぐ20年になろうとしています。当初より常に医師との連携も保ちつつ健全に発展してきました。最近では看護スタッフや臨床心理士も関わりをもつようになりました。新しい方々も、はじめは力をもらい、そして力を与えることができるように、お互いがピアサポーターとして助け合える、そんなグループとして今後も発展していくことを期待します。そして、あなた方の参加によって、この輪が更に多くの人に広がるように！

リボンの会ってどんなところ？

血液疾患の患者・家族なら誰でも会員になります。会費は無料です。

会員になりたい方はまず電話やメールで申し込んでください。会報をお送りしますので連絡先が必要になります。会報も無料です。定例会の日時や場所はHPや会報でお知らせしています。事前の申し込みは不要で、参加費も無料です。

浜の町病院の衛藤先生に顧問をお願いしています。ご厚意により病院の会議室をお借りすることが多いのですが、院内患者会ではありません。

会員には福岡県内外の色々な病院の患者さんがおられます。